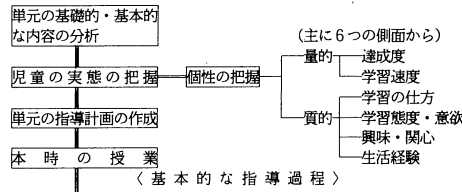


資料2 個性を生かした授業の構想

「個性を生かす」とは、基礎的・基本的な内容の定着を図る過程において、一人一人の児童の実態に応じた指導をすることによって多様な思考を促し、それぞれの考え方を大事にすること。



段階	児童の活動	教師の援助
課題把握	○自分なりの考えを持ち、見通しを立てる。	●興味・関心を生かすなどの工夫をする。
自力解決（一人学習）	○他人の考えに惑わされず、自分なりに考え、固有の考えを持つ。 (ノート作業、ワークシート、操作活動など) 自分のものの見方・考え方 (多様な考え)	●じっくりと考える場、及び時間を意図的・計画的に設け自ら考え、やり遂げる体験をさせる。 ●学習の手立ての多様化を図る ●個別指導等により、温かく支援してやる。 (助言、ヒントカード、指示カードなど) ●学習形態の工夫をする。
集団学習	○類型化、対立、比較などをする。(繰り上げ) ○温かい態度で友達への考えに接する。	●生活経験の違いなどで生じる互いのよさに触れさせる。 ●称賛、励ましを与えたり、共感的に理解してやりたりする。

(四) 個性への対応策
残雪の頭領としての勇敢な行動が、大造じいさんの心情を大きく変えていったことを読み取ることができるとする。

(三) 本時の目標
残雪の頭領としての勇敢な行動が、大造じいさんの心情を大きく変えていったことを読み取ることができるとする。

(二) 作品を読んで持った感想を観点ごとに整理して、要旨の明確な文章に書くことができるようにする。

(一) 場面の移り変わりの中で人物の関係や気持ちの変化を読み取り、作品の主題を考え、感想を深めることができるようにする。

五、実践例(国語科授業の例)
(一) 単元名 情景を思い浮かべて「大造じいさんとガン」
(二) 単元の目標
(1) 場面の移り変わりの中で人物の関係や気持ちの変化を読み取り、作品の主題を考え、感想を深めることができるようにする。
(2) 作品を読んで持った感想を観点ごとに整理して、要旨の明確な文章に書くことができるようにする。

(1) 個性を生かすためには、児童一人一人が自分のものの見方や考え方を持たせようとするのが大切である。そのために本時では、サイドラインを引かせたり、自分の考えを記述させたりすることで、児童に固有の考えを持たせるようにしたい。
(2) 書く活動は、話し合い学習にはない大きな特質を持つている。つまり、気の小さい子、話すのは苦手だが書くことは得意であるといった子でも、書く活動によってならば、生き生きと主体的に学習に参加できる。一人一人が学習に参加できるようにさせたい。

個別指導をすることで、基礎的・基本的内容の定着を図っていきたい。また、一人一人の読みに基づき音読や発言を、他の児童の読みと温かい態度で交流させることにより、より深く作品の世界に関われるようにさせたい。

資料3 授業実践例(指導過程)

時	学習内容・活動	期	主な発問	個性への対応策	指導上の留意点	評価
とらえる	1. 3の場面後半を音読し、本時のめあてをつかむ。 残雪のどんな行動が、大造じいさんの心を大きく変えたのだろう。	5	○様子や気持ちがよくわかるように3の場面後半を音読してください。 ○今日の学習のめあてを発表してください。	○音読を聞いての感想を叙述に即して述べさせよう読み方は自分が読むときにも取り入れるようにさせる。		
つきまぎら	2. 大造じいさんの残雪に対する心の変化を読み取る。 (1) 大造じいさんの考えが変化したのはどの部分からわかるか、話し合う。 (2) 大造じいさんの心を大きく変えた残雪の行動について話し合う。 (3) ハヤブサに立ち向かう残雪の戦いぶりについてさらに読み深め、話し合う。	35	○大造じいさんの考えが変わったところはどこですか。わかる場所に波線を引きなさい。 ○大造じいさんの心を大きく変えた残雪の行動を3つ探してサイドラインを引きなさい。 ○残雪の行動は、どうして大造じいさんの心を打ったでしょう。ノートに書きなさい。	□一人学習の時間を確保することにより、児童一人一人が自分の考えをしっかりと持つようさせる。その間、机回し巡視をし、学習活動が進まない児童などには個別指導を行う。 □集団思考の前段階として小集団による話し合いを行い、全体での話し合いに参加しにくい児童の抵抗を和らげるようにする。 ○単に「鳥対鳥」の戦いではなく、力関係の違う者同士の戦いであることを両者のくちばし・足先の違いの絵から視覚的にとらえさせ、勇敢な戦いぶりのイメージ化を助ける。 ◎大造じいさんの残雪に対する心情の変化が、残雪の戦いぶりから読み取ることができたか		
まとめ	3. 学習のまとめをする。 (1) 学習の反省をする。 (2) 3の場面後半を音読する。 (3) 次の学習について知る。	5	○今日の学習でわかったこと、感じたことなどをノートに書きなさい。	□児童なりに変容を自覚させたり、教師の賞賛励ましを与えたりすることによって、次時への意欲化を図る。		

(一) 成果
○国語、算数の研究を通して、個性を生かす手だてが明らかになり、授業の質的改善が図られた。
○主体的に学習に取り組もうとする意欲が見られるようになりつつある。
○全教科、全時間にわたる年間指導計画の作成により、新学習指導要領への移行が滞りなく行われている。

(二) 課題
○達成度や習熟度についての個性の追求が中心になったので、学習スタイル、興味・関心等についても研究を深める必要がある。
○国語科、算数科での研究の成果を、他教科へも生かしていく必要がある。

※記述中の研究実践内容についてくわしく知りたい方は、石川小学校(0247-261-3333)にお問い合わせください。